

郡小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	自由に「のびのび」とした居場所づくり
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	給食のある日の放課後 午後5時まで 毎日開室（年間約190日開室）
実施場所	放課後子ども教室・学習室（和室）・体育館・運動場
活動内容	はじめに、宿題（学習）をする。次に、自由遊びで放課後を過ごす。 体育館：ダブルダッチ・ドッジボール・バスケットボール バドミントン 運動場：一輪車・サッカー・野球・遊具遊び・コマ回し など

■活動の特徴・工夫

- ・「地域の子どもは地域で育てよう」を基本に、学校・家庭・地域が一体となった取組みをめざして開設した放課後子ども教室。
- ・授業が終わった放課後は、自由に「のびのび」と過ごし、遊びの中で身につけられる「危険回避能力」や、何をして遊んで良いのか分からない等、多様な課題を共有し、異学年と交流する中で、自分の責任で遊ぶ（人との譲り合い・助け合い・相手を思いやる気持ちなど）ことを学んでほしいと願っている。
- ・特色ある取組みとして、学童保育室（放課後児童クラブ）と日常的に連携し交流活動を推進している。他には、季節感交流（凧あげ大会・七夕笹飾りなど）を行っている。
- ・毎週水曜日に地域囲碁同好会の皆さんの指導で囲碁講座を開催している。

■スタッフの声

「ただいま」と元気な声で放課後子ども教室に来る子どもたち。すぐに宿題を始め、終わったら友だちと仲良く運動場や体育館に向かいます。一輪車やサッカー、野球、遊具、ドッジボールやダブルダッチ（縄跳び）などを走り回りながら楽しみます。時には、友だちとケンカして教室に戻ってくることも。「あのな、〇〇な」と説明してくれる優しい子どもたち。約束を守れず、保護者に連絡することもあります。子どもたちは、自由遊びの中で、自分で考え行動して日々大きく成長しています。保護者のみなさん、参観や懇談等、学校行事の時に教室を覗いてみてください。わが子やお友だちの新しい一面がみえ、大きな成長を感じられるのではないのでしょうか。私たちは、子どもたちからたくさんの元気をもらっています。